

第54回 東海・北陸地区連合小学校長会教育研究富山大会報告

小浜市立西津小学校
校長 岡本 悟

- 1 期日 令和元年10月10日～10月11日
- 2 会場 富山国際会議場、富山県民会館、高志会館
- 3 大会主題および副主題
主題：新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く
日本人の育成を目指す小学校教育の推進
副主題：主体的・協働的に学び 心豊かに未来を
生き抜く児童を育成する学校経営

- 4 第1日目の概要
分科会（11分科会）
第11分科会「社会形成能力」の概要
研究課題「社会形成能力を育む教育活動の推進」
＊愛知県新城市…新城教育における「共育」の理念の下、子供たちが将来の地域社会を形成して未来を生きぬくために、「他者との関係を築く力」「社会性や参画していく力」「自律的によりよい活動をしていく力」をつけていくための実践報告であった。
 校長は学校と地域をつなぐ大きな一翼を担っており、校長が学校の教育方針、重点的な取組を示し、地域に発信し続ける「つなぐ力」を大切にして、「共育」の浸透を図っている。また、児童が主体となって地域、家庭、学校をつなぎ、地域同士をつなぐ大切な存在となり、ふるさと学習の学びの質を高めている。さらに、児童の自律的な活動を支える環境づくりのために、地域と学校（校長）が豊かな学びを提供できるようにしている。
＊富山県富山市…キャリア発達を促す教育を「地域を大事にし、誇りに思う気持ちを育む中で、社会に積極的に関わり、形成していくとする力を養う」といった、地域の特色を生かす視点からの構想である。社会形成能力の育成における校長の役割として、「協働体制の構築と小中連携」と「地域における社会教育活動と学校の教育活動の望ましい融合」の2点における実践報告であった。

校長が見通しを持ち、リーダーシップを發揮することにより、教職員にもアイディアと活力が生まれ、豊かな活動を展開することができた。また、外部講師を招聘し、説明のみならず講師の思いや努力を知ることで、世話をする人や働いている人への尊敬の気持ちが

生まれ、地域を誇りに思う気持ちが高まった。さらに、子供たちにとって、自分の将来や地域の発展について考えることは、今後の進路や職業選択の視野を広げる礎となった。

5 第2日日の概要

- 開会式
- 全体会：大会宣言文決議
 - ：大会趣旨説明
 - ・学校経営の最高責任者である校長の果たすべき使命と役割を明確にする。
 - ・校長自らも個々の主体性と人間性を存分に發揮し、やりがいをもって新しい教育の創造を図る。
- 記念講演
 - 「映画づくりの現状と意義」
講師 本木 克英氏（映画監督）
 - 富山県出身の映画監督、本木克英氏を講師とした記念講演を拝聴した。「釣りバカ日誌」シリーズ11～13、「超高速！参勤交代」などを手がけた本木監督の予告映像を観ながら、映画作りや俳優の裏話、撮影秘話や苦労話など、映画現場の多くのエピソードを交えて、楽しく聴かせていただいた。本木氏は、「大学4年時、海外の企業に内定していたが、これでいいのかと迷っている折、偶然目にした助監督募集のチラシを見て受けたところ採用された」と監督になった経緯も説明された。監督の仕事や監督に求められる資質・能力について、「創る作品により、監督の役割はまったく変わる」「ときには調整役に徹し、自分の意思での指揮監督からは程遠いことやスポンサーの都合や役者の不祥事ですぐに判断を迫られる」というものであった。監督の仕事とは、「決断し、調整して、虚構の中に真意を入れたクリエイトをする」という事であった。校長のリーダーシップにもつながる興味深い内容であり、楽しく聴かせていただいた。
- 閉会式：次期開催県あいさつ

〈所感〉記念講演からは、人材育成をしていく上で、「決断力」「調整力」「創造力」の三つの力が必要であり、映画監督の資質・能力は校長のリーダーシップに通じるものがあると感じた。また、分科会では他県の様々な情報を得ることができ、大変有意義な2日間であった。